

第1回 小学校入学の頃を中心に

日時：2014年8月24日(日)

講義1：5～6歳児の発達と集団づくりの課題

講師：服部敬子氏(京都府立大学准教授)

通常の場合、就学前ごろに「生後第3の新しい発達の力」が誕生しはじめ、素敵な友だちや大人の姿を積極的にとり入れながら、「変化してきたジブン」「だんだん変化していくジブン」をとらえはじめます。遊びと仕事、現実と空想、科学と想像など、対立的にみられる関係をつなぐ新しい言葉やものの見方への関心を高め、「第3の世界」を強く求めはじめます。この大きなエネルギーの発生期にふさわしい教育的環境が用意されない場合にどのような「荒れ」が現れるのか、集団の中で行動調整が難しい子どもたちの抱える発達の課題とその支援方法について、「集団づくり」の観点からお話します。

服部氏「25年ほど前に『学習障害(LD)』の本、お子さんと出会い、田中昌人先生の未知なる理論に惹かれて『生後第3の新しい発達の力』って何???と研究を始めました。最近、長女の『いじめられ』克服過程、算数でつまずいている次女、保育者を困らせまくる長男のエピソード記録で研究ノートが埋まっています」

講義2：子どもたちの見せる姿とねがいに寄り添い、楽しい学級づくり、授業づくりを

講師：宮本郷子氏(追手門学院大学、非常勤)

講師・大阪発達支援センター“ぽぼろ大東”教育・発達相談員)

小学校に入学してきた子どもたちは、明るくて、やる気満々で、かわいい子どもたち。でも、なかには、落ち着いて話が聞けなかったり、自分の気持ちがうまく話せなくて泣いてしまったりする子どももいます。

今の子どもたちの現状とその背景を探り、様々な課題をもつ子どももみんなが伸びていける学級づくり・授業づくりを一緒に考えてみましょう。

宮本氏「大阪教育大学、同大学院で障害児教育を学び、31年間、大阪府内の小学校教師をしました。通常学級に学ぶ発達障害等、特別な教育的ニーズをもつ子どもと向きあい、そうした子どもたちの発達保障と、楽しい学級づくり・授業づくりの実践的研究を行ってきました。著書は『発達障害と向きあう』(クリエイツかもがわ、共著)等」

●タイムテーブル

9:10	受付開始
9:25～9:30	開会挨拶
9:30～11:30	講演1(質疑応答含む)
11:30～11:40	休憩
11:40～12:10	グループワーク①30分
12:10～13:10	昼食休憩
13:10～14:50	講演2(質疑応答含む)
14:50～15:10	休憩
15:10～15:50	グループワーク②40分
15:50～16:20	まとめ
16:20～16:50	閉会・アンケート記入

※タイムテーブルは、2回目、3回目は若干変わる予定です。

第2回 小学校高学年頃を中心に

日時：2014年11月24日(月・祝)

講義：小学校高学年頃の発達と教育的指導

講師：川地亜弥子氏(神戸大学准教授)

実践報告：依頼中

第3回 中学校の頃を中心に

日時：2015年2月15日(日)

講義：思春期の人格発達と支援(仮)

講師：春日井敏之氏(立命館大学教授)

実践報告：依頼中

●受講料

1回	一般	5,000円
	人間発達研究所会員	3,500円
3回連続	一般	13,000円
	人間発達研究所会員	10,000円

※2回の受講は1回分×2となります。

●定員 各回100人

●会場 第1回 大津市ふれあいプラザ

第2回 滋賀県人権センター光荘

第3回 滋賀県人権センター光荘

●交通

○大津市ふれあいプラザ

JR琵琶湖線大津駅より路線バスで浜大津下車(100円)。2階の連絡路(歩道橋)を渡り、右の建物のエレベーターで4階へ。京阪電車の利用は、京阪浜大津駅下車。連絡路からは上記と同じ。※駐車場は有料です。

○滋賀県人権センター光荘

JR琵琶湖線「大津駅」より路線バス「湖岸経由石山駅」行、または「近江大橋経由草津西口」行乗車、「馬場^{ばんば}1丁目」下車(230円)。「くら寿司」を左折。緑色の建物。バス停より徒歩約3分。JR琵琶湖線「膳所^{ぜんぜ}駅」よりは徒歩約15分(新快速は止まりません)。車でのお越しはご遠慮ください。

●昼食について

各自ご用意下さい。会場は持ち込み飲食が可能です。近くにレストランもあります。

弁当の空などゴミはお持ち帰りにご協力下さい。

できることと、わかることは違います

この連続講座は、学齢期——日本では満6歳の誕生日以後の最初の4月1日からの9年間——に焦点をあて、子どもたちの発達の姿や、子どもをめぐる学校現場での問題や援助の課題を考え合うシリーズの第2弾です。

教育とかかわりをもっているが、内発的に進行する独自の仕組みや法則をもつ「発達」を柱に、①それまでの「大・小」の二次元の世界から、「大・中・小」「過去・現在・未来」と三次元の世界に入っていく5、6歳頃の時期、②科学的・抽象的な思考が可能になり、仲間関係も自治的な性格を強める9、10歳頃の時期、③自己客観視ができてくるが故にゆれる青年期の入口である14歳頃の時期と、学齢期を3回に分けて学びます。

教育現場の実践報告と、新たに参加者の討議の時間も設け、教育の現場で必要と思われる援助や子ども理解について深め合いたいと思います。また、通常の発達を知ることが、障害をもった青年期・成人期の理解にも寄与することを願っています。

一緒に学び合いませんか？ ご参加お待ちしております。



●申込方法

(1) インターネットの申込専用サイトからお申し込み下さい（研究所のホームページからもアクセスできます）。1つのメールアドレスで1人のお申し込みとなります。

■申込専用サイト

<http://kokucheese.com/event/index/193925/>

(2) 受講料の払い込み口座がお申し込みのメールアドレス宛に通知されます。講座の6日前までに送金を済ませて下さい。払込手数料はご負担下さい。送金のない場合、キャンセル扱いになりますので、ご注意ください。

お支払期限

第1回・全回 2014年8月18日（月）まで

第2回 2014年11月18日（火）まで

第3回 2015年2月9日（月）まで

(3) 受講料の払い込みを確認しましたら受講番号がメールで通知されます。保存していただき、当日、受付でご呈示下さい。

(4) 出張等で上記の手続きができない場合や団体でのお申し込みは、下記事務局までご連絡下さい。

人間発達研究所

520-0052大津市朝日が丘1-4-3梅田ビル3階

TEL/FAX 077-524-9387

Email j-ih63su@j-ihd.com

URL <http://www.j-ihd.com/>

連続講座 学齢期の発達と 子ども理解

	日程	テーマ
第1回	8月24日(日)	小学校入学の頃を中心に
第2回	11月24日(祝)	小学校高学年頃を中心に
第3回	2月15日(日)	中学校の頃を中心に

主催 人間発達研究所